

補助金概要調書

補助金名	淡水魚育成放流事業費補助金			
所管部課	経済部水産振興室 (TEL 23 - 5226(直通))			
補助対象者	日野川水系漁業協同組合			
補助開始年度	平成2年度			
交付目的	米子市淡水魚試験研究育成施設で実施している増殖による種苗生産及び稚魚の放流に係る経費を助成することにより、内水面漁業生産の増大が図られ、もって内水面漁業者の経済的社会的地位を向上させる。			
補助金額と過去の補助実績()は一般財源額	H17年度実績	H18年度実績	H19年度実績	H20年度予算額
	3,000千円 (3,000)千円	3,000千円 (3,000)千円	3,000千円 (3,000)千円	3,000千円 (3,000)千円
補助事業の内容	補助事業者が米子市淡水魚試験研究育成施設で実施している鮎、鮭、うなぎ、あまご等の増殖及び試験研究により、これら淡水魚の種苗生産の安定化、増大を図る事業。			
補助事業に係る経費	補助事業の全体経費	12,400千円		
	内補助対象経費	12,400千円		
	補助対象経費の内訳	放流魚購入費、放流費、産卵場整備費、カワウ被害対策費、冷水病対策費、魚道整備費、河川調査費、流下仔魚調査費、鮭の学習会、植林費他		
補助金額の算出方法	補助率、補助額の考え方	補助対象経費の額(国または他の公共団体からの補償金、補助金、負担金、寄附金その他の金銭の交付を受ける場合は、対象経費の額から当該交付を受けた金銭の額を控除して得た額)の2/3以内		
	限度額	無		
補助金の財源等	市単独	一般財源	特定財源 ()	
	国県等 協調	直接補助	国 / 県 / 市 / その他() /	
		間接補助	国 / 県 / 市 / その他() /	
補助事業の効果及び効果の検証方法等	天然遡上量(資源量)が回復基調になりつつある。漁協の調査報告により確認する。			
終期の設定 (例外を適用する場合にはその理由等)	天然遡上量(資源量)が回復基調になりつつあり、当面は継続したい。			
その他参考事項 (過去の見直しの経過等)				